

## 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

追加型投信／海外／債券

愛称：四季の恵み（海外債券）

第67期末（2018年12月17日）	
基準価額	10,097円
純資産総額	10,964百万円
第66期～第67期	
騰落率 (上昇率・下落率)	+1.3%
分配金合計(*)	135円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 各期の分配金を合計したものです。

第66期（決算日：2018年9月18日）

第67期（決算日：2018年12月17日）

作成対象期間

(2018年6月16日～2018年12月17日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざし、運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく御願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

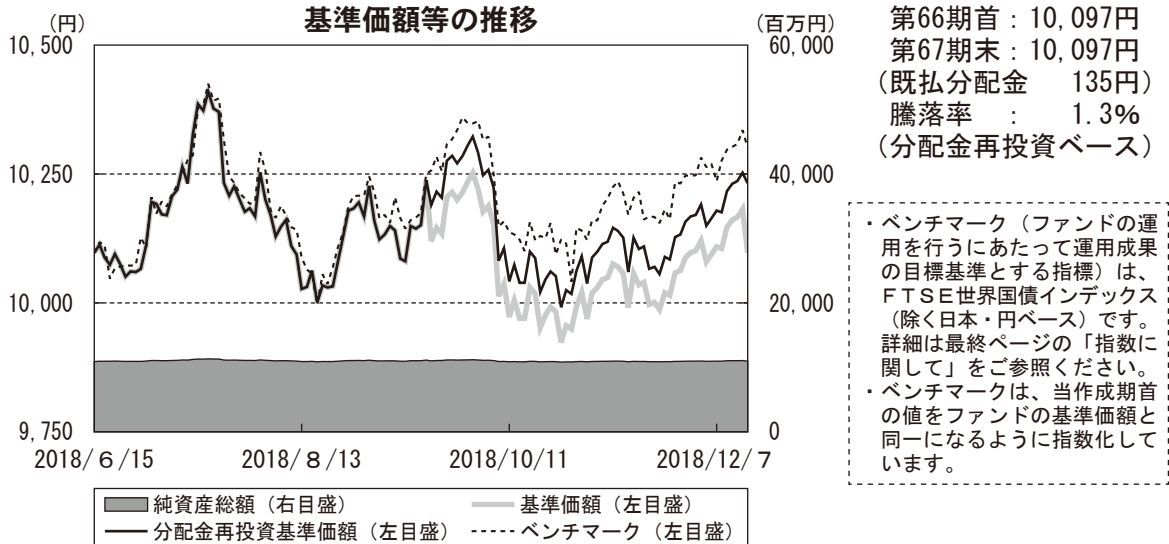
お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第66期～第67期：2018/6/16～2018/12/17）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ1.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.0%）を0.7%下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

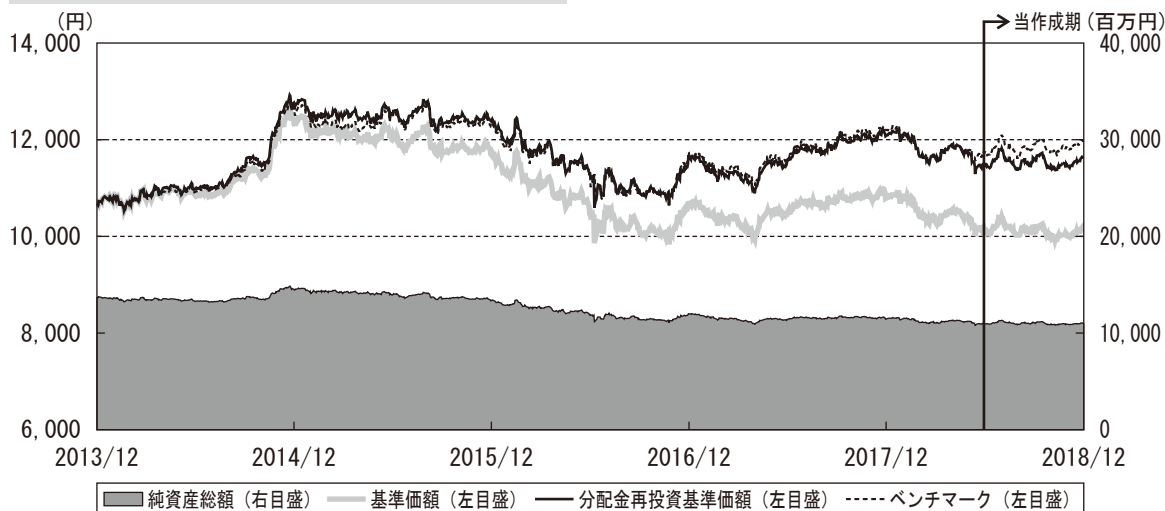
## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	米ドルが対円で上昇したことや、債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	英ポンドが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年12月16日～2018年12月17日)



- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2013年12月16日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

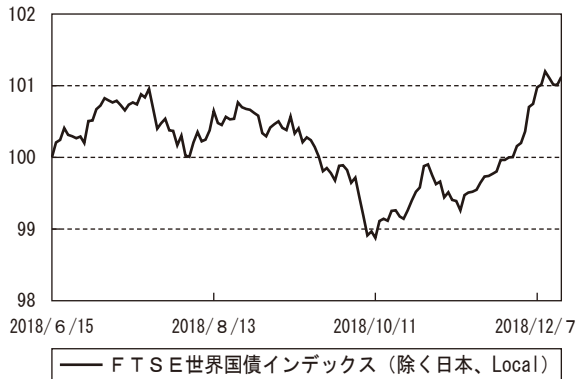
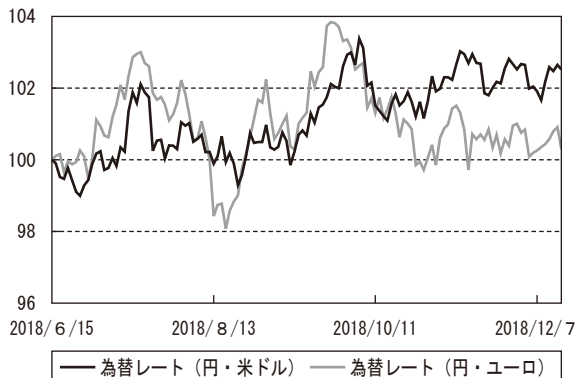
## 最近5年間の年間騰落率

	2013/12/16 期初	2014/12/15 決算日	2015/12/15 決算日	2016/12/15 決算日	2017/12/15 決算日	2018/12/17 決算日
基準価額 (円)	10,668	12,418	11,697	10,726	10,783	10,097
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	310	360	295	295	285
分配金再投資基準価額騰落率	—	19.6%	-2.9%	-5.7%	3.4%	-3.7%
ベンチマーク騰落率	—	18.5%	-3.0%	-5.7%	5.4%	-2.0%
純資産総額 (百万円)	13,722	14,539	13,335	11,995	11,431	10,964

- ・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

債券市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

(第66期～第67期：2018/6/16～2018/12/17)

## ◎海外債券市況

・欧米長期金利は概ね低下しました。当作成期首から2018年8月にかけては、米独長期金利は概ねもみ合いで推移しましたが、9月以降、米国と欧州で景況感の改善がみられたことなどを背景に、米独長期金利は上昇しました。その後、10月以降は、米中貿易摩擦に対する懸念などを背景に世界的に株式市場が下落したことや、米国の政策金利引き上げのペースが鈍化するとの思惑が高まったことなどを背景に、米独長期金利は低下に転じました。結果、当作成期を通じてみると、欧米長期金利は概ね低下しました。

## ◎為替市況

・米ドル・ユーロは円に対して上昇しました。米ドル・ユーロは、当作成期首から2018年9月にかけては、新興国情勢への投資家の懸念の高まり等を背景に、対円で下落する局面もありましたが、米国株式市場の一部指数の最高値更新や米国の長期金利上昇などを受けて、対円で上昇しました。10月以降は、世界的な株式市場の下落などが、米ドル・ユーロの対円での下落要因となりましたが、当作成期を通じてみると、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）>

- ・三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債に投資をしています。債券の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい高位に維持しました。

### <三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ2.0%の上昇となりました。

- ・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。作成期を通じて債券の組入比率は高位に維持しました。
- ・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、米国の債券デュレーションは、当作成期首から、米国のイールドカーブの平坦化を想定し、超長期ゾーンをベンチマーク比オーバーウェイト、中短期ゾーンを同アンダーウェイトとする中、2018年7月下旬に超長期ゾーンのオーバーウェイト幅を拡大し、米国の債券デュレーションを同長めに変更したものの、10月上旬には、堅調な米国景気を背景に、米国の債券デュレーションを同中立に変更しました。欧州の債券デュレーションは、当作成期を通じて同中立を維持しました。
- ・欧州においては、6月下旬に、イタリア政局への懸念が後退したと判断したことなどから、イタリアをベンチマーク比アンダーウェイトから中立に、スペインを同中立からオーバーウェイトに変更しました。ドイツは、イタリアの政局不安などを背景に当作成期首から8月下旬にかけて同オーバーウェイトとした一方、フランスは、当作成期を通じて、同アンダーウェイトを維持しました。
- ・カントリーアロケーション戦略については、当作成期首から10月下旬にかけては、米国の景気拡大期待や新興国の景気減速懸念、イタリアの政局不安などを背景に、米ドルをベンチマーク比オーバーウェイトとした一方、ユーロ・豪ドル・カナダドルを同中立からアンダーウェイトでコントロールし、10月上旬には、南アフリカランドを同中立からアンダーウェイトに変更しました。また、英ポンドは、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の先行き不透明感が高まったことなどから、8月上旬に同オーバーウェイトから中立に変更しました。その後、作成期末にかけては、豪ドル、南アフリカランドをベンチマーク比アンダーウェイトとしつつ、10月下旬に、カナダドルを同中立からオーバーウェイトに変更し、また、11月下旬には、米国の利上げ継続に不透明感が台頭したことなどを背景に、米ドルを同オーバーウェイトから中立に、ユーロを同中立からオーバーウェイトに変更しました。
- ・当作成期は、米ドルが対円で上昇したことや、債券利子収入を享受したことなどから、基準価額は上昇しました。

## （ご参考）

## 利回り・デュレーション

作成期首（2018年6月15日）

最終利回り	1.9%
直接利回り	2.1%
デュレーション	7.4年

作成期末（2018年12月17日）

最終利回り	2.0%
直接利回り	2.2%
デュレーション	7.2年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について（第66期～第67期：2018/6/16～2018/12/17）

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

## ＜三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）＞

- ・ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（2.0%）を0.7%下回りました。

## ＜三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド＞

- ・ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（2.0%）とほぼ同水準となりました。

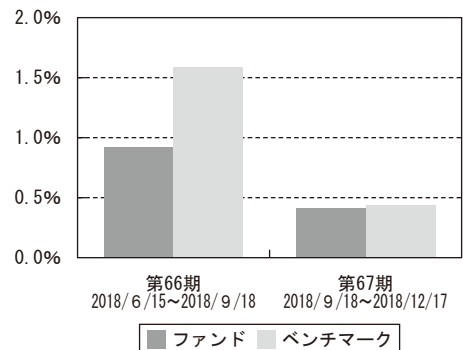
## （プラス要因）

- ・当作成期首から2018年11月下旬にかけて、米ドルが円に対して上昇する局面で、米ドルをベンチマーク比多めとしていたことなどがプラス要因となりました。

## （マイナス要因）

- ・2018年7月下旬以降、米国の債券デュレーションをベンチマーク比長めとする中で、9月に米国金利が上昇したことなどがマイナス要因となりました。

基準価額（ペーパーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第66期	第67期
	2018年6月16日～2018年9月18日	2018年9月19日～2018年12月17日
当期分配金	70	65
（対基準価額比率）	0.687%	0.640%
当期の収益	43	32
当期の収益以外	26	32
翌期繰越分配対象額	2,585	2,553

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ＜三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）＞

#### ◎今後の運用方針

- ・三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ＜三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド＞

#### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧米長期金利はもみ合う展開を想定します。米国では、米連邦公開市場委員会（FOMC）は、引き続き政策金利誘導目標の引き上げを目指している一方で、今後の引き上げペースは世界景気や市場動向を注視するものと考えられ、長期金利はもみ合う展開を見込みます。欧州では、コアのインフレ圧力は抑制される中、欧州中央銀行（ECB）は、資産購入に伴うバランスシートの拡大を2018年末に終了することを決定し、その後の金融政策の方針に注目しています。為替市場では、米国の金融政策や米中間の通商問題、英国のEU離脱問題の動向などを背景に、当面は米ドル、ユーロともに不安定な展開が継続しやすいと考えます。

#### ◎今後の運用方針

- ・前記の運用環境の見通しに基づき、金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

## ◎約款変更

- ・該当事項はありません。

## ◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

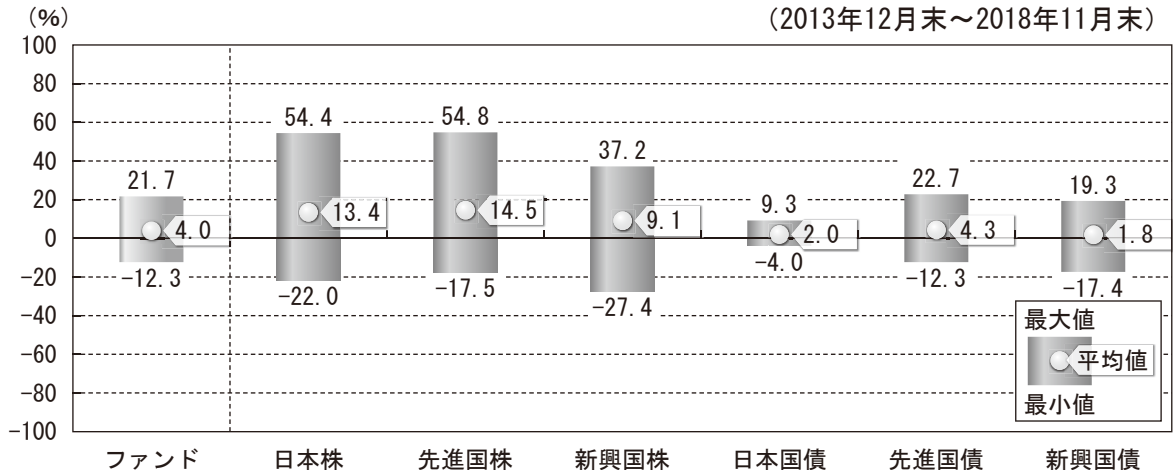
\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2002年2月5日設定）	
運用方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。	
主要投資対象	当ファンド	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	三菱UFJ海外債券アクティブマザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
運用方法	わが国を除く世界主要国の公社債を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、長期的な収益の獲得をめざします。	
分配方針	毎年4回決算（原則として3、6、9、12月の各15日。ただし、15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年12月から2018年11月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2018年12月17日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第67期末 2018年12月17日
<input checked="" type="checkbox"/> 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	99.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

上記  の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

#### 純資産等

項目	第66期末 2018年9月18日	第67期末 2018年12月17日
純資産総額	11,002,103,422円	10,964,068,817円
受益権口数	10,871,978,208口	10,859,240,949口
1万口当たり基準価額	10,120円	10,097円

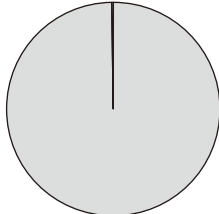
・当作成期間中（第66期～第67期）において  
追加設定元本は 412,720,485円  
同解約元本は 348,014,549円です。

#### 種別構成等

##### 【資産別配分】

コール・ローン等

0.2%

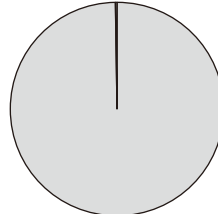


マザーファンド受益証券  
99.8%

##### 【国別配分】

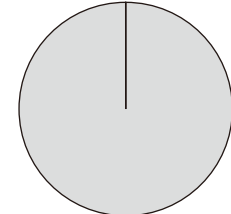
その他

0.2%



日本  
99.8%

##### 【通貨別配分】



円  
100.0%

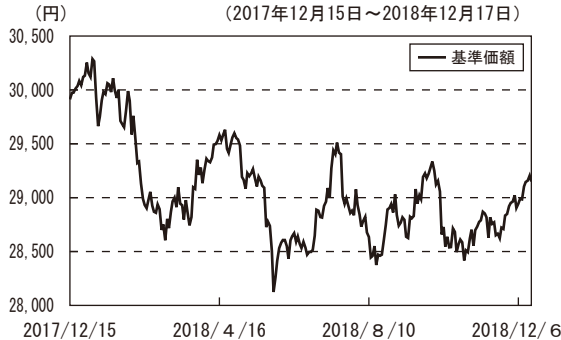
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

(2018年12月17日現在)

## 基準価額の推移



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：58銘柄)

銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1 2 T-NOTE 221031	債券	アメリカ	国債	6.8%
2 1.625 T-NOTE 260215	債券	アメリカ	国債	6.3%
3 2.75 T-NOTE 240215	債券	アメリカ	国債	6.0%
4 2 T-NOTE 250815	債券	アメリカ	国債	6.0%
5 4.75 ITALY GOVT 280901	債券	イタリア	国債	4.6%
6 1.95 SPAIN GOVT 260430	債券	スペイン	国債	4.2%
7 0.5 BUND 260215	債券	ドイツ	国債	4.1%
8 1.5 CAN GOVT 260601	債券	カナダ	国債	3.8%
9 2.25 T-NOTE 210430	債券	アメリカ	国債	3.7%
10 1.75 T-NOTE 230515	債券	アメリカ	国債	3.4%

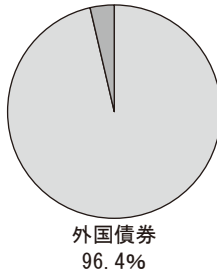
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

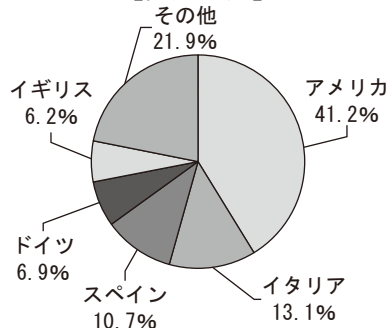
## 【資産別配分】

コール・ローン等

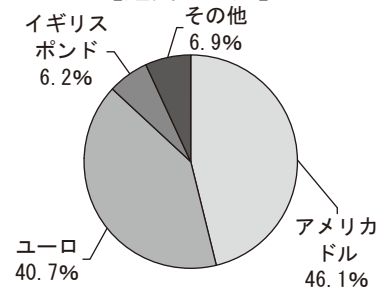
3.6%



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	10円	0.033%
(保管費用)	(10)	(0.033)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	10	0.033

期中の平均基準価額は、29,060円です。

(2017年12月16日～2018年12月17日)

(注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

591401

## 指数に関して

### ○ファンドのベンチマークである『FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）』について

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

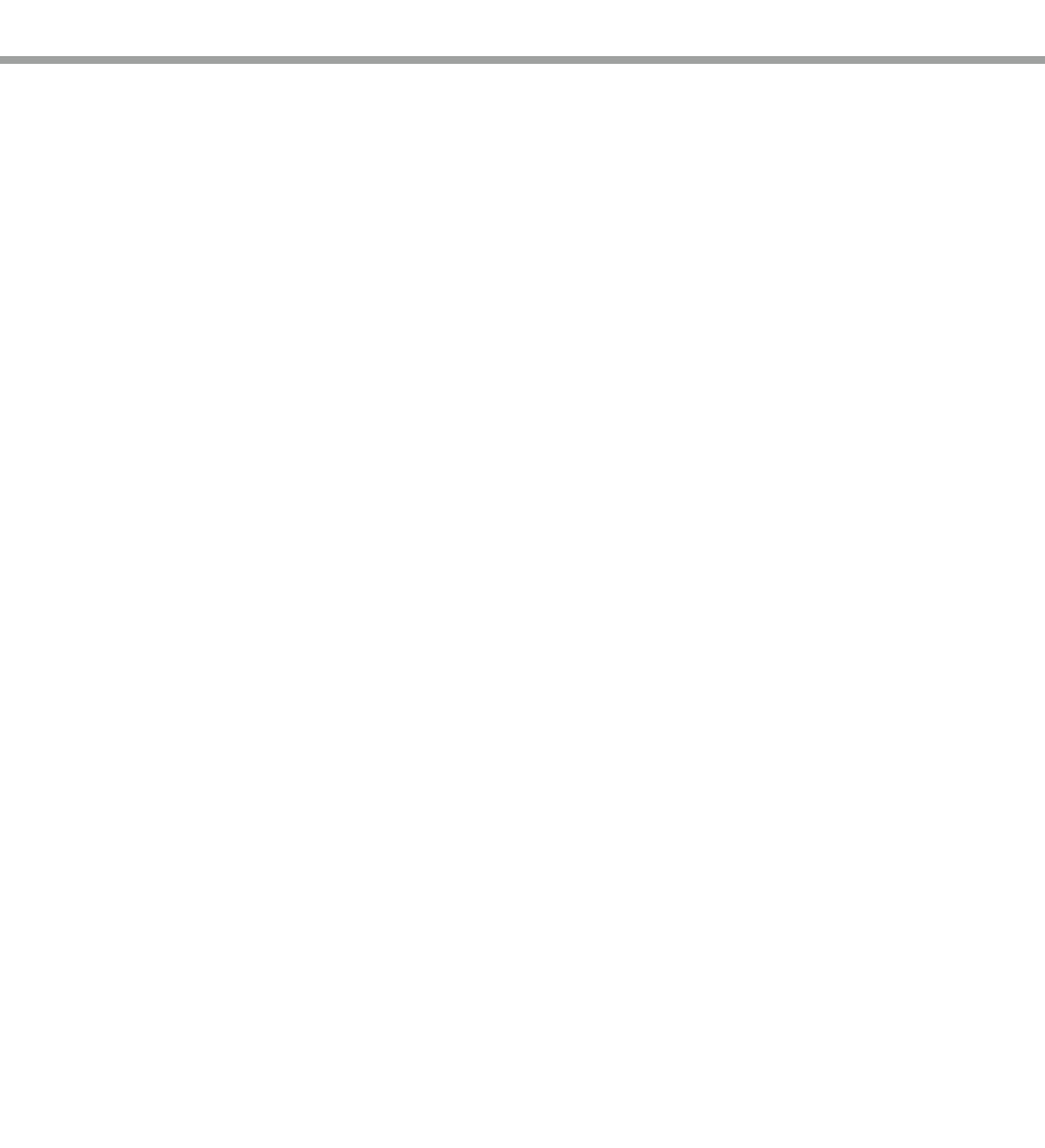
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信